

Q.雨の日の洗濯は身近な河川の汚染につながるってホント？

家庭から出る排水は、下水道を使うことできれいな水に変えられ、川や海に戻っていきます。ところが、大都市域などで多く見られる「合流式下水道」という方式では、雨の日には洗濯排水を含む排水が、汚れたまま河川等へ流れ出てしまうことがあります。

現在、河川等を汚濁をすることのないよう、全国的に合流式下水道施設の改良が進められていますが、各家庭でできることとして雨の日には洗濯を控えることも大切な対策の一つです。

合流式下水道のしくみ

晴れの日：家庭からの排水は全て下水処理場できれいに処理されます。よって、問題ありません。

雨の強く降った日

一部の排水が雨といっしょに川や海に流れしまい、河川等を汚す原因の一つとなっています。

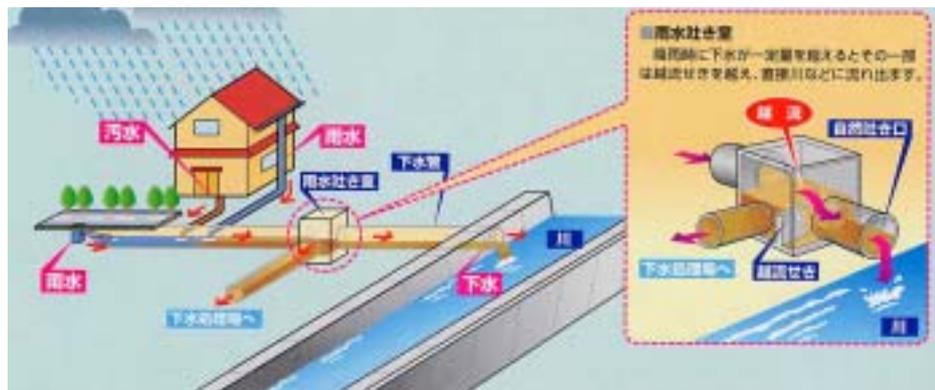


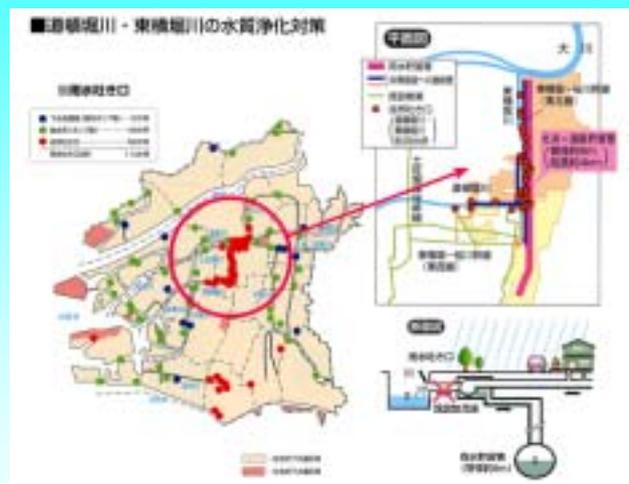
図. 雨の強く降った日の模式図(洗濯等の排水が河川へ流れ出る様子)

合流式下水道の改善への取組み(例, 大阪市)

大阪市では、道頓堀川・東横堀川の水質改善を目的に、雨の日にも川に排水が流れ出ないように、道路地下に貯留管（平成の太閤下水：北浜逢阪貯留管）を整備する事業を進めています。（工事中）



道頓堀川の現況 将来のイメージ図



- ・しかし、工事は大規模で、完了までには長い期間が必要です。
- ・そこで、一人一人の取組みとして、雨の日には、洗濯を控える等汚濁物を出さないようご協力をお願いします。